

会員各位殿

西大路第三町内会

会 長 中澤 和雄
婦人部長 末神さえ子

婦人部研修会のご案内

さわやかな秋の深まりを覚える今日この頃ですが、皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて町内会行事の秋のイベント「**婦人部研修会**」を下記の内容で予定致しました。お忙しいこととは存じますが是非 参加下さいます様ご案内申し上げます。

記

実施日	平成 17 年 11 月 17 日 (木)
行き先	秋の湖北路を訪ねて 【 渡岸寺・雨森芳洲庵・須賀谷温泉 】 東浅井郡 浅井町
集合時間	午前 8 時 30 分
集合場所	京都信用金庫 草津西支店向い側付近 (送迎バスにて)
参加費用	2, 500 円 (当日集合場所にて頂戴します)
申込み方法	別紙の通り
申込み締切り	11 月 5 日 (土)

(どうがんじ)

渡岸寺 十一面観音 (高月町)

奈良時代、聖武天皇の勅願により、泰澄が十一面観音立像を刻み観音堂を建立したのが開基。その後最澄が七堂伽藍を建て栄えたが戦国時代の兵火で焼失。村人の手によって観音様だけが守られた。十一面観音は平安初期の作で、高さ 1.95m、国宝。眉から鼻にかけての線は秀麗で気品にあふれ、腰を少し左にひねった姿は官能的ともいわれ平安初期密教美術の傑作



(あめのもりほうしゅう)

雨森芳洲 庵 (高月町)

江戸時代中期の儒学者・雨森芳洲(1668~1755)は、高月町雨森に生まれました。対馬藩(現長崎県)に仕えた芳洲は、隣国李氏朝鮮との外交・貿易において、大きな功績を残しています。61 才の著「交隣堤醒」にみる「互いに欺(あざむ)かず争わず、真実を以ての交わり」は、彼の先進的な国際感覚がよく表れています。その功績を顕彰して建てられた「高月町東アジア交流ハウス・雨森芳洲庵」では、芳洲の足跡を詳しく知ることができます。

